

# 清水医師地域医療研修

「早かったなー。」これが2ヶ月の地域医療を終えた率直な感想です。鹿児島～名瀬行きフェリーで揺られること12時間弱、奄美にやってきました。私は入職当時のご挨拶でしか院所を訪問したことはなく、鹿児島市内と奄美や徳之島の医療の違いを認識しそれを実践できるのか少々不安がありました。

しかし、奄美中央病院での研修が始まるとその思いも徐々に薄らいだ気がします。というのは、医局の先生方をはじめ



としてカンファレンス等で他職種のスタッフに色々と助言を頂きながら医療を実践できたからです。朝の勉強会も医師以外のスタッフの方々が参加しているのには驚き、そして病院全体で医療をという姿勢を感じられました。だからこそ、もっとコミュニ



ケーションをとりもっと意見を交わすべきだったなと深く反省しきりです。今後は私の方から積極的に話しかけ、よりよい医療の環境をと今では思っています。

印象深かったのは、やはり訪問診察と搬送でしょうか。その家がある集落、生活する家屋から支える家族まで色々と考えさせられることが多かったです。また搬送する中で病院の役割や他の医療機関との関係など、私が普段属している鹿児島の院所とは違うことを認識しました。数時間で奄美と鹿児島を往復する機会もただけ、貴重な経験となりました。



徳之島診療所では研修日数が少なかったのですが、小児科のウエイトが大きいことと何でも診察するという、さらにはそれを私の



数年先輩方がお二人で診療所を支えていることに驚嘆しました。

南大島診療所は2週間の研修であり、時間もあつたので外来診療で地域の個性豊かな患者さん達の全身管理にいかに関与していくかということずっと考えていました。こちらもお二人の先生とスタッフの方々が一生懸命にかつ丁寧に外来で患者様に対し御説明や検査の勧めなどをされているお姿に、今までの自分の姿勢を振り返ることができたと思います。

冒頭に早く経過したなと記述しましたが、それは充実した研修を送ることができたからだと思います。それは、やはり私の研修に関わって下さったすべての皆様のおかげでしかありません。たくさんの出会いがあり、本当に有意義にできました。この場をもって厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

